

MICHELIN PILOT SPORT CUP 2 R

" タイヤを正しく安全に使っていただくために "

MICHELIN PILOT SPORT CUP 2 R（以下タイヤとします）は非対象パターンのため、必ず「OUTSIDE」（外側）と表記されている面を外側に装着してください。回転方向の指定はありません。

このタイヤは、公道走行可能なサーキットタイヤです。ドライグリップを最優先した設計のため、ウェットハイドロプレーニング性能は一般の市販タイヤと比べると低くなっています。降雨時のご使用については、充分スピードを落とし、安全走行を心がけてください

このタイヤは車両メーカーと共同で、特定の車種別に専用設計されています。したがって、これらの車両にのみ装着することをお勧めいたします。

また、このタイヤは専用設計のため、通常の MICHELIN PILOT SPORT CUP 2 や他の製品との同一車両内での混用はお勧めいたしません。

このタイヤの性能を十分に発揮するために、4 本同時使用・交換をお勧めします。

【サーキットでお使いになる前に】

タイヤの摩耗状況や損傷がないかご確認ください。適度なスピードで走行し、タイヤの温度を徐々に高めてからお使いください。

【サーキットにおける空気圧調整のすすめ】

タイヤが冷えた状態で 190kPa を下回らないように空気圧を調整して走行を開始して下さい。

3～6 周*のウォーミングアップ走行にてタイヤを徐々に温めてください。（85～110℃）（*サーキットにより異なります）特に初めの数周はスピード及び車両コンディションに充分配慮し安全に走行してください。

ピットに戻ったら、すぐにタイヤが温まった状態の空気圧を確認してください。タイヤが温まった状態で 200kPa～240kPa に空気圧を調整して下さい。別表に指定する車種については、車種別の指定空気圧まで調整してください。（弊社 HP 内に掲載している「サーキット走行時の推奨空気圧について」をご参照ください）

さらにポテンシャルを引き出すために 3～6 週の練習走行を行ってください。ピットに戻り、再びタイヤが温まった状態で 200kPa～240kPa に空気圧を再度調整して下さい。別表に指定する車種については、車種別の指定空気圧まで再度調整してください。（弊社 HP 内に掲載している「サーキット走行時の推奨空気圧について」をご参照ください）

この手順で調整された空気圧にて使用することをお勧めします。

MICHELIN PILOT SPORT CUP 2 R

【サーキット走行時の注意点】

サーキットにおいて激しい走行を長時間する際は、縁石との接触によってタイヤが損傷する恐れがありますので、充分注意してください。

縁石（またはトラック路面以外のもの）上を長時間走行した場合は、ホイールからタイヤを外し、タイヤの内部や各部を確認してください。タイヤの内側・外側に損傷がないか注意深く観察し、必要に応じてタイヤ販売店等にご相談ください。

各走行セッション終了毎にタイヤの目視点検をしてください。

【サーキット走行終了後、公道走行する前に】

必ずタイヤの状態を確認し、公道走行に必要なコンディションを満たしていることをご確認ください。タイヤが冷えている状態になってから、自動車メーカーの指定空気圧に調整してください。車両の安全デバイスや空気圧モニタリングシステムをオフにしている場合は、必ずオンにしてください。

【一般路での使用】

タイヤが冷えている状態で自動車メーカーの指定空気圧に調整してください。自動車メーカーの指定空気圧は運転席側ドア付近や給油口またはオーナーズマニュアルに表示されています。

【冬の走行時には以下の点をご注意ください。】

気温 7℃以下では夏タイヤのゴムは固くなりその性能を発揮できない場合があります。状況に応じて冬用タイヤの装着をお奨めします。

【保管方法】

長期間タイヤをご使用にならない場合は、ホイールと組まれた状態で車両から外し、自動車メーカー指定空気圧の半分の空気圧で保管してください。

直射日光、雨及び水、油類、ストーブ類の熱源及び電気火花の出る装置に近い場所などを避け、0℃以上の場所で保管してください。-10℃以下でこのタイヤの使用・保管・輸送をしないでください。タイヤが適正に保管されていない場合、性能が低下する可能性があります。また、低温での保管はゴムにクラック（亀裂）を生じさせ、性能低下の原因になる可能性があります。

クラック（亀裂）やゴム割れ、その他損傷があるタイヤは使用しないでください。不明な点がある場合はタイヤ販売店にご相談ください。